

ハートフル・ネット

発行日 2017年4月1日
発行所 社会福祉法人
北九州市手をつなぐ育成会
〒804-0064
北九州市戸畑区沖台2-4-8
TEL (093) 884-1500
FAX (093) 884-1501
ホームページ www.kitaiku.com
Email ikuseikai@kitaiku.com
発行責任者 小松 啓子

人権をテーマに利用者が韓国語で演劇

—韓国語講座の受講生が「モモマル君と森のなかまたち」を公演—

育成会主催の韓国語講座の演劇発表会「モモマル君と森のなかまたち」が3月3日、戸畑区の「ウェルとばた」で開催され、一般市民や職員、家族、利用者、関係者など約120人が参加した。同演劇は北九州市人権問題啓発推進協議会発行の人権研修入門資料の一部を韓国語に翻訳したもので、出演した利用者らは堂々と韓国語で演技を行い、カーテンコールでは観客から惜しみない拍手が送られた。

今回の演劇は、韓国語講座の受講生（利用者ら）による発表会で、学習の成果を披露するとともに、その活動を多くの人に知ってもらおうと企画された。また、同講座は外国語学習を通して相互理解を深めるとともに自己実現を目指しており、今年3年目を迎え、28年度は韓国語での演劇発表を行うことを受講生で決めた。

演劇のテーマは人権。主人公のモモマル君と森の仲間たちはカラスに対して偏見を持ち、差別をする。しかし、偏見を持っていた姿とは違うカラスのやさしい姿に出会ったモモマル君が偏見や差別について問いかける。冒頭には出演



ネコがモモマル君とカラスが一緒にいる姿に驚く場面を演じる利用者

者の差別に対する考えや経験などをインタビューした映像が流れ、主題である差別への意識を高め、韓国語での演劇がスタートした。最後に



演劇終了後、記念撮影に納まる出演者ら

は1年間の同講座の活動写真なども映し出され、会場は感動に包まれた。さらに市の「人権の約束事運動」のマスコットキャラクターのモモマル君も登場し劇に花を添えた。観客からは「日本語でも難しい演技を韓国語で披露する姿に感動した。内容も分かりやすく、みんなのインタビュー映像にも感動した。人権について考えるきっかけとなった」などの感想が聞かれた。また、出演した利用者は「みんなで頑張ってきた。緊張したが、楽しかった。また劇をやりたい。この演劇で差別や偏見、イジメがなくなればいいと思う」と感想を述べていた。

成功裏に公演を終えた韓国語演劇。利用者の自信にも繋がり、同講座ではこれからも利用者中心で活動の幅を広げていきたいとしている。